

要求工学による、要求工学のための、法解釈管理・追跡フレームワーク Legal Interpretation Management and Tracking: by RE, for RE

石川 冬樹
Fuyuki Ishikawa

井上 理穂子
Rihoko Inoue

どんな問題？

情報システムの開発・運用にあたっては、法・規定の考慮、そしてそれらの変化への対応が求められます。その際には、曖昧な法の文言に対する具体的な解釈やその変化を管理・追跡する必要があります。

どんな技術？

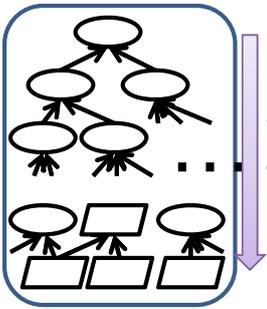
要求工学における、
・ 曖昧な概念の段階的な具体化
・ 変化への対応のため追跡可能性
という考え方にに基づき、法解釈のモデル化、分析、管理方法を模索します。

背景：要求工学

システム開発・運用に対する 法・規定の影響が大き

背景：法解釈

抽象的なゴール



具体的な要求とポリシー 要求工学の原則

- ・ 属人的な経験にできる限り頼らず品質向上を行うための系統的な手法
- ・ 変化に対応するための追跡可能性

課題

法の観点から妥当な、要求の具体化

課題

新しい法・その解釈への追跡

課題

より広い人々による対応の必要性

段階的
詳細化

要求分析
手法への
統合

系統化

追跡可能性

提案

要求分析フレームワークを模倣した、
法解釈のモデル化・分析
フレームワーク

(意図的に) 曖昧な法

「営業秘密」であるためには…
…「秘密として管理」され…

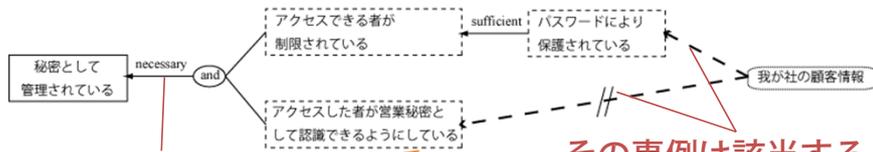
判例

「秘密として管理」されている
には下記が必要
- アクセス制限されている
- その機密性が明示されている

ガイドライン **数年後**
広く合意された法解釈

LIMT フレームワーク

例：顧客情報を（法的に）「営業秘密」として管理できている？



どう具体化される？

その事例は該当する？

判例によって新たに
明示された具体的な必要条件

他の例：（情報公開法）
「組織的に管理されている」？

以下の形での具体化もある
・ 該当すると判断されることに寄与する条件
・ 該当しない十分条件、その具体例

法・規定
判例
ガイドライン
先行する自身の見解

法解釈モデル

(半) 自動的な、要求分析モデル
(ゴールモデル) への織り込み
コンプライアンスチェックリストの生成
…